助成事業名　**大野町共有地の利用を考える事業**

（まちづくり助成１年目：耀く大野町まちづくり委員会）

事業概要　低未利用地の有効利用について勉強会やワークショップを行い、基本構想を作成する。

実施内容

大野町共有地利活用セミナー(5 回)と
先進事例(佐賀市 わいわい！コンテナ2)の視察を行い、
3箇所の大野町共有地の有効利用の可能性について
住民同士で意見を交わした。

第1回　7 月 25 日(参加者 12 人)
【講師】各務原市都市建設部土地活力創造課　松下了　氏･大野尚子　氏
【内容】･大野町共有地って何？
　　･各務原市の取り組み

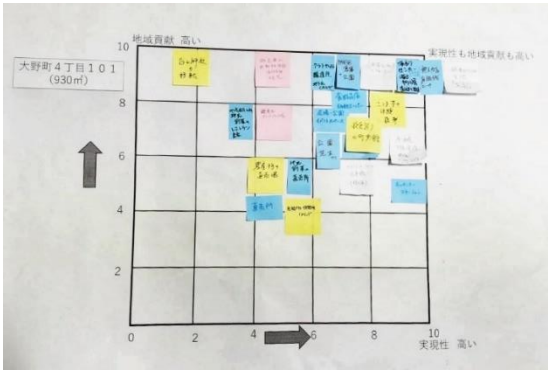
第2回　8 月 29 日(参加者 16 人)
【講師】美濃善不動産株式会社　代表取締役　浅野彰成　氏
　　PEP UP CIRCLE 共同代表　葉山瑛介　氏
【内容】･土地の活かし方
　　･古民家活用の事例

第3回　9月 26 日(参加者 13 人)
【講師】CBRE㈱コンサルタント　新川義志氏
　　㈱オアシスパーク寺田祥夫　氏
【内容】･産業的使い方(賃貸型物流倉庫の事例)
　　･公園的使い方(オアシスパークの事例)

第4回　10 月 24 日(参加者 9 人)
【講師】㈱オアシスパーク寺田祥夫　氏、
　　各務原市まちづくり推進課　辻由紀夫
【内容】活用プランを考えるワークショップ

第5回　11 月 28 日(参加者 10 人)
【講師】岐阜大学名誉教授｜岐阜県地方自治研究センター理事長
　　富樫幸一先生
【内容】行動計画作成のワークショップ

第6回　3 月 3 日
【内容】佐賀市「わいわい！！コンテナ2」視察



-＊-

事業成果

●セミナーとワークショップを開催することで、住民が再度「低未利用地」の運用について意識した。
●基本構想（基本方針）の完成には至らなかったものの、大野町が保有している３つの低未利用地について、「売る」「貸す」「運営委託」「包括連携・指定管理」などの運用可能性について住民が事例を学び、話し合いのベースができた。
●「土地の運用により収入があった場合にどう使うか」という課題や自治会運営のあり方についても話題となった。今後、実証実験などに挑戦しながら、地域での話し合いを継続していく。

収支報告　事業費総額　385,435 円　/　助成金交付確定額　246,000 円

助成経費内容　報償費（謝金）、旅費、需用費（紙、プリンターインク、フライヤー印刷）、賃借料（illustrator ソフト使用料）